

児童発達支援・放課後等デイサービス luna(ルナ)もりのこびとたち

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75%	25%		身体を動かすスペースは広く楽しめている。落ち着きたいときも工夫をして個別の空間を設けている。同時間3人利用までが適当だと思われる。
	②	職員の配置数は適切であるか	75%	25%		マンツーマン+αで対応している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	25%	50%	25%	一体化した場所だが、「遊ぶ空間」とその他の場所の区分けはできている。事業所が2階にあるが、階段のみでエレベーターはない。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	75%	25%		除菌・消毒・換気を徹底し、空気清浄機も作動させている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	75%	25%		その都度、話して共有している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	75%	25%		毎年実施し、業務改善に努めている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	75%	25%		ホームページに掲載している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		25%	75%	現在は利用者(保護者)と事業所内の評価のみを実施している。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		100%		社内研修、事業所内情報交換などしているが、十分ではないと考える。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%			面談で得たニーズや課題、地域療育センターなどで実施した発達検査の結果も把握して、支援計画に反映させている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	75%	25%		一人ひとりの特性や課題を把握するためにアセスメントを実施しているが、標準化されたものは使用していない。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	75%	25%		本人支援が中心である。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%			個別支援計画に沿った支援を行っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			支援計画確認カンファレンス時に意見を出し合うようにしている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			子どもの興味関心、活動プログラムのサイトなどから広く情報収集するようにしている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%			発達段階や障害特性などに応じて、無理のないように立案している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	75%	25%		支援の内容、留意点など、安全面も含めて確認するようにしている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	75%	25%		当日だけでなく、振り返りと共有を行い、改善するように努めている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			一人ひとりの記録と、全体の記録をとり、支援の検証・改善に活かしている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			6ヶ月以内に1度、また必要に応じて面談を行っている。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			サービス担当者会議は実施がなかったが、モニタリングを受け児発管が対応している。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		100%		必要に応じて行っていきたい。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)	25%	75%		該当なし。
		地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)	25%	75%		該当なし。
		子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	50%	50%		保護者を通じて情報収集を行っている。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	50%	50%		保護者を通じて情報収集を行っている。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50%	25%	25%	保護者を通じてOT、PTの検査結果報告書などを見せてもらい、見学に行ってその後支援の助言を受けたりしている。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			100%	療育時間が短いため、実施は難しいと思われる。
関係機関や保護者との連携	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	25%	50%	25%	可能な限り、今年度は一度だけ参加。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			来所時、お迎えのときなどに、子どもの様子や興味関心についてなど、できるだけ会話をするようにしている。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	50%	25%	25%	上記の通り、気軽に会話はできていると思っているが、状況や必要に応じてしっかりとした家族支援が実施できればと考えている。
	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	75%	25%		契約時に個別に実施している。
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%			6ヶ月以内に1度、また必要に応じて面談を行い、支援計画を作成し説明を行っている。
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	75%	25%		随時行っているが、定期的には行っていない。
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100%	現在は会がないが、希望があれば積極的に連携支援したい。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	50%	50%		苦情対応窓口を契約書に記載し、ご案内している。
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	25%	75%		可能な限り、ブログ配信をしているが、定期的に行えるようにしたい。
	㊲	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%			鍵付き書庫に保管している。
保護者への説明責任等	㊳	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			必要に応じて絵カードや写真で対応し、表情から気持ちを読みとり確かめることも行っている。
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		50%	50%	法人行事の際にボランティアをしてもらっている。また、実習生の受け入れも行なっている。
	㊵	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	75%	25%		マニュアルを作り、事業所内で研修を行い、保護者にも伝えている。
非常時	㊶					

寺の対応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			主として地震発生時の訓練を子どもの発達段階に応じて実施している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%			聞き取りやアセスメントシートにて把握している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	50%		50%	食事提供はしていないが、一人ひとりのアレルギー状況は把握している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	75%		25%	随時、情報を共有し、ファイルに記録している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	75%	25%		研修は行っているが、障害特性や支援の仕方についてなどの研修がもう少しあればなおいい。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	50%	50%		利用児童又は他の児童の生命又は身体を保持するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束を行わないことを、契約時に個別に説明をしている。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。